

平成16年度群馬県教育課程実施状況調査

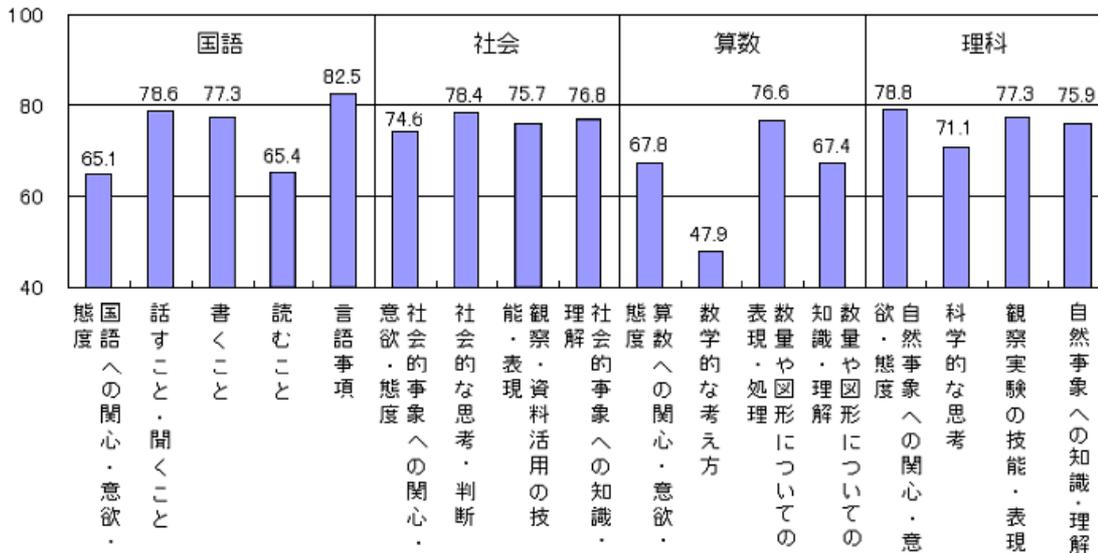
群馬県教育委員会は、平成16年5月に県内の全ての公立小学校6年生及び中学校3年生を対象に、国語、社会、算数・数学、理科、英語の5教科について、群馬県教育課程実施状況調査を行いました。

なお、この調査は平成16年2月に全国の小学校5年生・中学校2年生を対象に文部科学省が抽出調査した問題を活用しています。

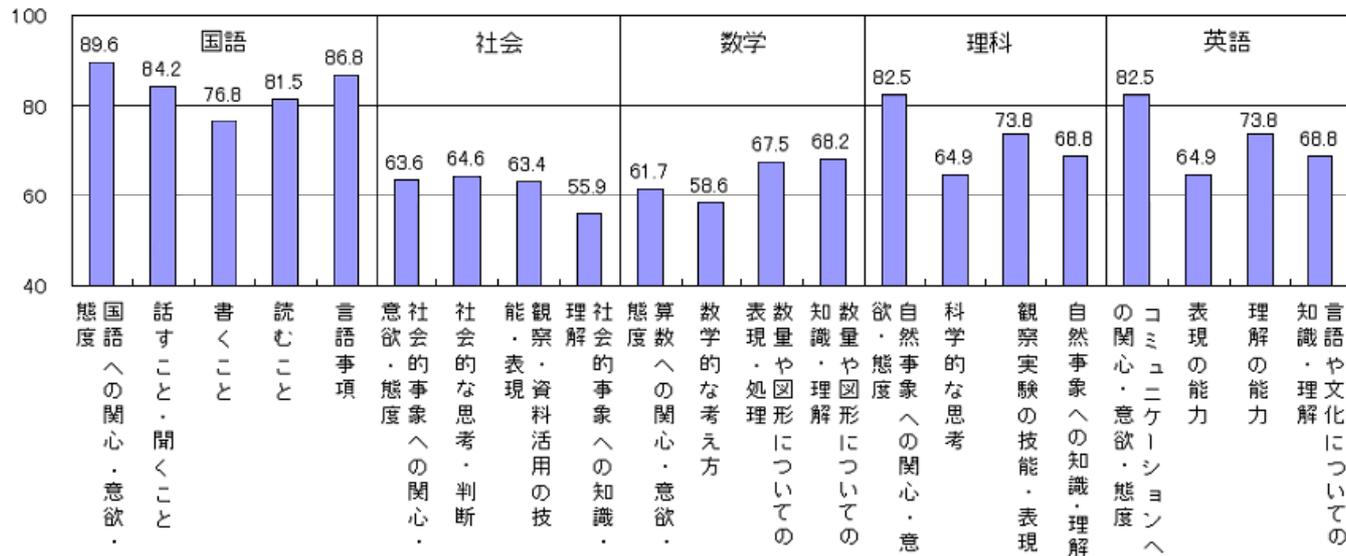
調査結果は以下のとおりです。

平成16年教育課程実施状況調査

(%) ○小学校の正答率



(%) ○中学校の正答率



また、調査結果を分析したところ、次のような課題が見られました。

(1) 国語

小学校

自分の立場を明らかにし、相手にわかるような話し方で話すことに課題がある。

事実を客観的に表現する力に課題がある。

自分の考えをもって、その考えを主張しようとする意欲が弱い。

中学校

話の中心的内容と付加的内容を区別して聞き取る力や話の構成をとらえる力に課題がある。

読み手にとってわかりやすく書く力や目的に応じて文章構成を整える力に課題がある。

自分の立場を明らかにし、理由を含めて意見を言おうとする意欲が弱い。

(2) 社 会

小学校

自分の生活から離れた国での課題に対して自分なりの考えをもつことの関心が低い。
既習事項や自分の生活との関わりについて自分なりの言葉で表現する力に課題がある。
複数の資料を比較したり関連づけたりして読み取ることや基礎的な知識・技能に課題がある

中学校

社会的事象へ関心をもち、自分で進んで考えようとする意欲が弱い。
複数の事象を比較したり総合したりして考える力に課題がある。
適切な資料を収集・選択したり、複数の資料を比較・関連させて分析する力に課題がある。

(3) 算 数・数 学

小学校

既習事項と関連づけて考える力に課題がある。
式と日常生活との関連や式と図を関連させて考えるなどの力に課題がある。
具体的な計算式などから一般的な法則を見いだすことなどに課題がある。

中学校

問題や問われていることの意味がよく理解できないなど内容を読み取る力に課題がある。
問題が複雑になると根拠になる性質などをとらえられなくなるなどの課題がある。
身近な事象を関数的に考えるなど数学的な考え方に課題がある。

(4) 理 科

小学校

定量的関係があやふやなど、正確な知識が定着していない。
原因と結果を関連させて考えることに課題がある。
日常生活と関連づけて自然事象を見る態度が弱い。

中学校

観察実験の結果などをデータとして計算したり、グラフ化したりする面で課題がある。
一つの条件を変えるとどうなるかななどを予想する力に課題がある。
実験方法と目的とを関連させて理解するなどの面で課題がある。

(5) 英 語

中学校

比較的長文の読み取りで、大切な部分や事実関係をとらえることに課題がある。
書く内容を見つけられない、適切な表現の仕方を見つけられないなどの課題がある。
自ら進んで表現しようとする意欲が弱い。